

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (10時15分)

受付番号第9号、平野由里子君の一般質問を許します。登壇願います。

1 番 平 野 議長のお許しをいただきましたので、質問させていただきます。受付番号第9号、第1番 平野由里子。件名、会議の公開は協働のまちづくりの第一歩。

要旨、役場内の各課で委員会や審議会などの会議が数多く開かれていますが、その公開性について伺います。本山町長は協働のまちづくりを提唱し、また、住民自治基本条例の制定を公約としています。それらの前提は、情報の共有と課題の共通認識であると考えます。そこで以下の点を伺います。

(1) 各種会議のうち、傍聴可否の判断はどのような基準でなされていますか。また、その割合は。

(2) 傍聴可能なものの日程の告知はどのような方法がとられていますか。また、それは課単独で行っていますか。総務課でまとめて行っていますか。

(3) 可能な限り傍聴を認め、その日程をわかりやすく告知するためにホームページを活用してはいかがでしょうか。以上、よろしくお願いいたします。

町 長 それでは、平野議員の御質問に随時お答えをさせていただきます。

1つ目の御質問ですけれども、町で設置条例、規則、要綱等で設置されている42の委員会等のうち、傍聴に関する規定がある委員会等は、教育委員会、教育総合会議、新松田駅周辺地域まちづくり協議会の3つの会議のみでございますので、割合で申し上げますと42分の3となり、およそ7%ということになります。また、傍聴された実績があるのは、教育委員会、教育総合会議でございました。委員会の中には、例えば個人情報扱う委員会など、傍聴することがそぐわないものもございしますが、傍聴に関して規定されていない場合でも、その委員会の設置のための根拠法や委員会の目的、性格などから傍聴しても差し支えないものもございします。

御質問の傍聴可否の基準でございますが、上記3つの会議では、それぞれ規則、要綱で定めており、手続、傍聴の制限、禁止行為等が定められ、ほぼ同様の内容となっております。

2つ目の御質問の日程告知の方法でございますが、傍聴が可能であった3つの委員会等についての告知方法でございますが、教育委員会の場合は、告示す

ることが規定とされており、1週間前までに庁舎前の掲示板を使って掲示し、告示しております。教育総合会議につきましては、町ホームページを活用し、告知しておりました。新松田駅周辺地域まちづくり協議会につきましては、立ち上げの会議を持っただけで、傍聴については次回以降、町ホームページや町の広報を活用して行ってまいりたいというふうに考えております。

告知に当たっては、それぞれの所管課で行っており、総務課で1つまとめて行っているということではございません。

3つ目の御質問の、傍聴を可能な限り認め、告知にはホームページの活用という御質問についてお答えをさせていただきます。1つ目の御質問でお答えをさせていただきましたように、傍聴の規定があるのが3つの委員会等しかございませんが、傍聴が可能な委員会は数多くあると思っておりますので、もう少しお時間をいただき、傍聴規定のない委員会等においても傍聴の可否を整理し、改めて傍聴の規定を定めるか、現行のままでも可能かどうかを判断し、または統一した基準が必要であれば速やかに定めたいというふうに考えております。基準を定める必要がない場合でも傍聴がスムーズに進められるように、マニュアルまたは指針等を作成し、できるだけ早く傍聴していただけるようにしたいというふうにも考えております。

町では、これまで委員会等で町民の方々が傍聴をするという意識、感覚が非常に低かったように感じます。また、全ての会議が傍聴を想定していない会場設定をしておったりとかしておりましたので、そのあたりから意識を変えていかなければならないとも考えております。町は、ことし自治基本条例を制定すべく事務を進めているところでございますが、平野議員がおっしゃるとおり、情報の共有と課題の共通認識を持っていただくためにも行政の見える化は必要なことでありますので、同条例に当然盛り込むべき柱の一つであるというふうに認識をしております。条例の制定におくれることがないように事務を進めて、傍聴できる委員会等については、スムーズに実施できるよう準備をしてまいりたいというふうに存じております。

最後に、告知のためにホームページの活用ということについてお答えをさせていただきます。行政などが情報を発信する手段といたしまして、従来は広報

やお知らせ版、回覧といった印刷物や電話連絡、説明会などが中心で行ってありました。しかし、現在はICT環境の整備が進み、ほとんどの行政でホームページを開設しており、ホームページは新たな情報発信手段としての役割を担っているというふうに思っております。そして、リアルタイムな情報提供も可能なことでもありますので、年々その割合は大きくなっているというふうに思っております。

そこで、平野議員がおっしゃるとおり、会議等の告知等はリアルタイムに情報発信させていただき、町民の方々に周知を図ってまいりたいというふうに思っております。また、それ以上に、しっかりと運用されているホームページを持つ行政は、それだけしっかりとした行政であると思われているところもございます。今後は、魅力のある情報発信とともに松田町をPRしていくことで、自分たちが住みたい町、魅力のある町としてイメージアップを図ってまいりたいというふうに考えております。また、町民の誰もが知りたいときに簡単に必要とする行政情報を得ることができるよう、町が保有している行政情報をさまざまな方法により積極的に提供し、行政の見える化に努めてまいりたい、取り組んでまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

1 番 平 野 大変シンプルでわかりやすい回答でありがとうございます。もう少しお聞きしたいんですけども、(1) 番の答えで、規定があるのは、傍聴の規定があるのは今のところ42のうちの3つのみというようなことで、まだ規定がないところもこれからなるべく可能な方向で考えていきたいというような、そういうお答えだったと思うんですけども、本当にそれは私もそういう答えを希望していたものですから、非常に期待が持てます。ぜひ進めていただきたいなと思います。

教育委員会の告知に関しましては告示義務があるということで、1週間前に役場前の、恐らくあれはガラスケースの中ということですかね、あそこでA4の紙を張っているのだらうと思います。あれに関しては本当に、告示義務を本当に一番、何だろう、シンプルに遂行していただいているということで、それはそれでよろしいんですが、やはりそれをわざわざ見に来る方というのはなかなかないのかなという気がしますので、やはりこれはそれだけではとても足り

ない告知方法と思うので、ぜひホームページ等、あるいはお知らせ版とか、ある程度予定がわかることなので、お知らせ版などにもぜひ載せていただきたいなと思います。

そして、ホームページの件なんですけれども、ちょっと私もほかの市町のものを見てみましたが、非常によい例になるなと思ったのが小田原市のホームページなんですけれども、小田原市のトップ画面をあけると「もうすぐ開催イベント」というコーナーがあるんですね。そこにももちろんその子育て教室とかそういうイベントもばあっと出てくるんですが、その中にそういう審議会、協議会などもちゃんと入ってきているんです。また、その同じコーナーで「イベント検索」もできるようになっていて、例えばそこで文化とかね、芸術とか、そういうジャンルでやると、もちろんそういうものが出てくるんですが、そのジャンルの一つにちゃんと「説明会・審議会」などというジャンルがつくってあって、それで検索するとばあっとその審議会、会議が出てきます。ずらずら出てきますね。恐らくこれは日付順で出てくるんじゃないかと思うんですけども。それを一つあけると、ちゃんとそのPDFがリンクされていて、会議の開催のお知らせ、まさに今、教育委員会の張っていただけるようなものをちゃんと表にしてある感じなんです、文章だけじゃなくて、会議のタイトルとか、その日時、場所に続いて、公開の可否というところがあって、小田原はどうだったかな、定員が出てきたかな。何か傍聴の人数に限りがある場合はそれが書いてあって、それが傍聴不可となると、ちゃんとその不可の理由も、例えば個人情報があるのでとか、そういうちゃんと理由も出てくるというような、そういうつくりになっているんですね。ちょっとそのPDFは、今教育委員会が張っていただけるのとはまた少し違うのかもしれないんですが、何しろわかりやすい表が出てきています。

そのトップ画面にもう一回戻りますが、トップ画面のそのイベントのコーナーのところはカレンダー表示があるんですね。切りかえでカレンダー表示が出てくるんです。そのカレンダー表示だと、今度は日付から何日というところをクリックすると、その日付で出てくる、例えばきょうは会議があるし、子育て教室があるしみたいな、全部それも出てくるということで、その機能もとて

もいいなと思うんですね。

あと、南足柄もちょっと参考に見てみたんですけども、トップ画面からは、すぐにその会議や審議会の情報が目につく表示にはなっていて、やっぱりそういうのに関心がある人が探して出さなきゃいけないというような形です。なので、何か会議がないかなみたいなふうに思った人は「市政情報」というところをクリックすると。そうすると「情報公開・審議会」というのが出てきて、それをまたクリックすると「審議会等の会議開催予定」というのがやっとあらわれるんですね。そこをクリックすると、今度は近日中開催される予定となっている審議会等の詳細というのがやっとあらわれまして、それがまた日付順なんでしょうか、出てきて、それを1つ選んでクリックすると、やはり先ほど言った表というか…あ、そうだ、南足柄は、そのPDFの前段階に1回、日時、場所、公開可否が既にそこで1回出てきて、その下にPDFがくっついて、さらに詳細がわかるということがなっていて。小田原市のようにPDFをあけるまで可否がわからないというのよりは、PDFの前にその公開可否がわかるので、それはそれで南足柄のほうには、その点はよいと思ったんですが、やっぱりトップ画面で探しにくいというのは、ちょっと小田原のほうの方がやはりその辺はよかったなと思ったんです。

市だけではなくて、これはみんな市だから町はいいんじゃないのと思われるといけないと思って、町の例も探してみたんですが、ちょっと近隣では見当たらず、埼玉県の上尾市というところが割合とわかりやすく、やはりトップページからすぐその審議会情報が目につくというやり方ではなかったんですね。なので、やっぱりそういうものが知りたいという人は「町政情報」をあけなくちゃいけないで、「町政情報」のところに「町のしくみ・案内」という条項が出てきます。項目が出てきて、それをあけるとやっと審議会等会議の公開というふうに出てきます。その下に「会議開催のお知らせ」というふうになってきて、やっと一覧表が出てくるんですね。公開の可否もその一覧表の段階で見えるようになっていました。これも便利なやり方だなと思います。さらに詳細を知りたい人はPDFをあけるというような形になっていました。

三者三様でいろいろな仕様がやっぱりホームページにはあるので、それぞれ

いろいろ閲覧してみて、何か一番やりやすいなというその仕様を松田でも取り入れていただきたいなと思っています。私の希望としてはなんですが、やっぱりトップページでわかりやすいその小田原方式が一番いいかなと私は思いました。さらにそのカレンダー機能がすごい便利ではないかと。それは今言っている会議公開のためだけではなくて、イベントが全部出てくる、その日にちで出てくるというのはすごいいいなと思って、子どもの館の行事から寄のお祭りの行事から、もうとにかく町に集まった行事は、そこにアップしていけば一目瞭然で情報が手に入るというので、そのカレンダー機能はぜひ取り入れていただけたらなというふうに思いました。

やっぱりカレンダー機能が便利だなと思うのは、やっぱり前々から自分も予定を組めることもあれば、突然ぼこっと時間があくことがありますよね、皆さんも恐らくそういうことあると思うんですが、時間がちょっとあいたときに、きょう何か町でやってるかなってやって探せる。そういう意味でもカレンダー式の仕様はとても便利ではないかなと、そういうふうに考えました。

先ほど言った三芳町、埼玉県の三芳町のさっきのその審議会の件にまた戻りますけども、この審議会のページをどんどん見ていきますと、閲覧していきますと、さっきのその一覧表が出てくるその下のほうに「審議会等の会議の公開に関する運用状況」という表が出ていまして、これがとても興味深いと思ったんですね。これから松田が取り組んでいく一つの、何というか、リアルな状況というか、それが表に出てきまして、この町では、25年度は、会議総数86回、うち公開可能が62回、非公開が24回、これはもう本当に数字だけの表なのでいちいち理由がちょっと書いてなかったんですが、実際に傍聴者があった会議は7回、その7回のうちの平均傍聴者数は1.1人という、ちゃんとそういう数字まで出ています。

恐らく、先ほどこれからなるべく規定が今ないものもなるべく可能にしたいというようなことで、これから基準をつくっていくということでしたが、恐らくその、全体のその流れとして情報公開原則、そういうものがある流れとしては、やはり基本的に可能で、むしろ逆にだめなものを探すほうが楽だと思うんです、数としては。絶対にそっちのほうが少ないと私も思っているんですけれ

ども、なるべく可能な限りは傍聴するというふうにしたとしても、実際に先行しているこの町、三芳町で、そんなに押し寄せて傍聴者がやってくるというふうなことは恐らくはないかなと思います。ただ、これは、それに甘んじてはいけないそういう数字だと思うんですね。恐らくその傍聴が、毎回毎回来れる人なんていうのはそんなにいないし、また、常に、その町のやることに本当にもう常にめっばって興味があるという人だってそんなにいないのでこんな数字になっちゃうんだと思うんですが、それはそれでまた問題なので、なるべく興味を持っていただけるようなふうに、やっぱり町と住民との間のコミュニケーションが一つでも二つでもそのチャンネルが多くなるようにというのは、常に努力しなくてはいけないことだと思いますので、そんなに押し寄せてはこないだろうと言いつつも、やっぱりなるべくみんなに関心を持っていただきたいというふうに、そういうふうな方向で進めてほしいと思っています。やはりそれが協働のまちづくりの第一歩だというふうに私は考えております。

先ほどのお答えの中で、リアルタイムでホームページで情報発信をする、そしてホームページの運営がしっかりしている市町は、その市町の運営自体もしっかりしているというふうな傾向があると町長はおっしゃっていましたので、ちょっとそのホームページをね、ついこの間刷新したばかりなんですけども、そのあたりの予算的なこと、財政的なことはどうなんでしょうか。可能なんでしょうか。

政策推進課長　ただいまの御意見、大変貴重な意見ありがとうございました。今ちょっと考えていたんですけども、小田原のその最初のトップページからぱっぱと段階的に行くものはすぐできると思います。ただ、ちょっとその切りかえでカレンダー表示、大変いい意見があったんですけども、それについてはちょっと業者のほうと調整をさせていただかないと、すぐできるものか、ちょっと費用がかかるものか、ちょっとその辺は相談させていただきたい。最初の段階的なものはすぐできると思います。以上です。

参事兼総務課長　お話の中で、今後進めていく進め方等の御意見というか、いただきまして、私のほうでもごもっともだなと思います。やはり、これはだめだと思われるも

のというのは本当に数少ないんじゃないかと。今私のほうでも思いますのは、やはり個人情報の特に扱うようなもの、私のほうで所管しているもので言えば、例えば表彰審議会とかというのは全く個人情報の部分になりますし、その辺についてはちょっと御遠慮いただきたいなと思う部分があります。それと、今ふっと思い浮かんだのはそういったところだと思います。ですから、それは各課に投げた中で、これはだめだよというのは幾つあるかと。それ以外のものでも今もうできるのかできないのか、やはりそういう基準がなきゃ要綱なりで定めなきゃいけないのかどうか、その辺も踏まえて、恐らくそういうのがなくてもできるのではないかという感触は持っております。ただ、これは、ですから一度そういうのは確認させていただきたいなと、そのお時間はいただきたいなと思っております。そういう中で、できるだけ早い形で進められればと思っております。

1 番 平 野 今、政策推進課のほうから段階的に情報をあけていくのであればすぐできるというようなことでして、それは特に新しい予算をつけなくても大丈夫なことでしょうか。

政策推進課長 通常のでき方で大丈夫だと思うので、それは費用はかからないと思います。ただ、カレンダーのほうだけはちょっと調査をさせていただければと、お願いします。

1 番 平 野 ありがとうございます。まずはね、やれることからということで、お金が本当にかからないのであれば、ちょっとまたお手間がかかってしまいますが、ぜひなるべく早く段階的にたどりつけるような形をやっていただきたいと思います。行く行くはそのカレンダー表示をぜひ予算がつくときになるべく早くやっていただきたいなと思います。そして、そのカレンダーの中には、その会議情報だけではなくて、先ほど言ったように、町で把握しているいろいろな情報をどんどん入れていってほしいなと思っております。

ちょっとこの主題とは外れますけども、その情報がやっぱり、ちょっとやっぱり発信が足りないなと思うことがしばしばありまして、やっぱり子どもの館、それから自然館などもとてもいいイベントをやっているんですけども、やっぱりその紙媒体だけの発信がほとんどなんですかね。自然館の方が個人的にSN



Sをやっている、そこで発信をしてくださっている場合もあるんですが、基本的には公的ではないので紙媒体だけですよね、あそこもね。それがとてももったいないなということがあります。なので、ぜひそういう紙媒体しか今ないイベント情報もそこに盛り込んでいただければなと思っております。そのあたりはどうでしょうか、そういった方向で検討していただけますでしょうか。

政策推進課長　　ちょっと私も今、自分のホームページを熟知しているわけじゃないので、もしそういうことであれば、子どもの館とか自然館のイベントも載せていきたいと思えます。それは可能だと思います。

1 番 平 野　　ありがとうございます。ぜひそういうところで、少しでも楽しいイベントがいろいろあるんだよというアピールをやってほしいなと思っています。

私、この会議の公開に関して、とても今回は時間も短くて、もうこれだけ聞ければという、本当にシンプルなことで質問に上げましたけれども、本当に、何ていうか、予算ももしかしたら使っちゃうかもしれないけど、そんなに莫大な予算がかかるような話ではないし、ちょっとしたことだと、ちょっとしたその改革だと思うので、簡単にというふうに私は思ってしまっていてしまったんですが、ぜひぜひちょっと労力をとらせませうけれども、取り組んでいただきたいんですね。やっぱりそれは本山町長も公約に唱えているその協働のまちづくりという、それに本当に欠かせないことだと思っていて、情報の共有とその問題意識の共有という、そういう認識がお互いに町民と持てないまま、協働、協働ということだけ唱えて、これやって、あれやってというふうなやり方をしてしまうと、やっぱりそれは最悪なケースでは、結局一方通行のお願い、もしくは、人によっては命令ととられる人もいるかもしれませんし、やんわり言っているつもりでも、住民のほうではやらされている感というのかな、そういうような感覚を抱くことになりかねないと思うんですね。やっぱり今自分たちの町でどんな課題が話し合われていて、どういうことが問題だということを一人でも多くの方に理解をしていただくという、それがすんなりとスムーズに協働の気持ちが育つというのか、その第一歩だと思いますので、ぜひぜひこれはお題目に終わることなく推進して行ってほしいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

じゃあ最後、すいません、町長に、すいません、最後、一言。

議 長 答弁ですか。

町 長 御提案ありがとうございます。外部の人たちも町内の人たちも、今おっしゃられるように、松田町が今どういう方向で進んでいるのかといったものの情報発信は、非常に紙媒体の中で月に「広報まつだ」で1回、「おしらせ号」で2回と、ホームページも活用をしておりますけど、何となく運用の仕方について行き詰まってるなというふうな思いは非常にありましたので、今おっしゃられるような格好でどんどん発信をすることによって、ホームページがずっと変わっていると、見る人たちもまた何か変わってるんじゃないかなとか、こんなことやってるんじゃないかなとかという興味を示してもらうのはよくわかってますので、しっかりとやっていきたいというふうに考えております。

また、最後にちょっとおっしゃられたその協働のまちづくりについても、そろそろいろんな方々の御意見をいただきながらというか、意識改革の中で、やってる、やらされてると思うのではなくて、みずからがどんなことができるのかというようなステージに移っていかないと、そういうことをいまだに言っている人たちが取り残されていくようなまちづくりをしてしまうとよくないと思っておりますし、それを全て行政の責任にされてもまた困るところもありますから、そういったところも考えながら、今後、ことし1年かけてになりますけども、自治基本条例のことについて、我々が進むべき方向性、こういう町に住みたい、こういう町になってほしいということを議論してまいりたいというふうに考えています。以上です。

議 長 以上で受付番号第9号、平野由里子君の一般質問を終わります。

以上で本日本日予定しました日程の全てが終了しましたので、本日の会議はこれにて散会いたします。なお、午後1時より、大会議室において議会全員協議会を開きますので、昼食をとっていただき、定刻までに御参集くださるようお願いいたします。本日は御苦労さまでした。 (10時44分)